

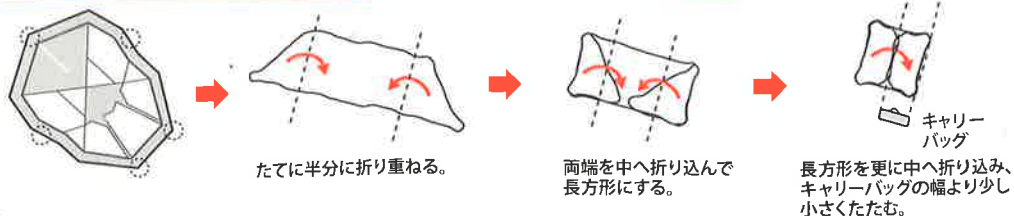
撤収手順

STEP 1 ルーフフライ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

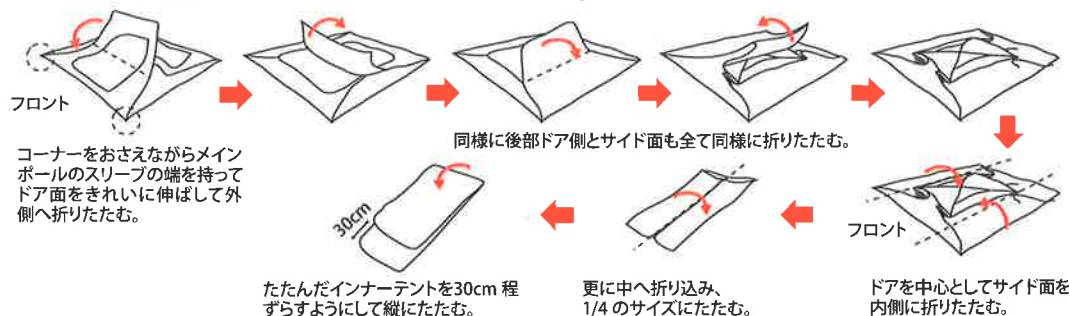


注意

テントを濡れたままで収納すると、色移りやカビ発生の原因となる為、防水効果が著しく損なわれ、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



STEP 2 インナーテントのポールをすべて外し、空気を逃すために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



STEP 3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、中央付近から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



WEATHERMASTER® TRIO DOME

[ウェザーマスター®トリオドーム]

取扱い・組立て説明書



コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際は保護用に手袋などを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指を挟まないように注意してください。また周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールを破損やね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時または、強風が予測される場合はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体は必ずペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認して適切なペグをご用意ください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。

結露について
 テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テントのフライシート、タープ内の空気を循環させ換気を行うことで結露の発生を低減することができます。

収納・管理の注意

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた水分や砂、土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●本体 (インナーテント)	1張
●グランドシート付きスタンディングタープ	1枚
●フライシート	1張
●メインポールセット (シルバー/レッド)	2本
●フロントポール (シルバー)	1本
●リアポール (ブラック)	1本
●キャンビーポール (スチール/グレー)	2本
●自在ロープ	9本
●スチールペグ	22本
●ハンマー	1ヶ

設置時



[インナーテント]



[バック側]

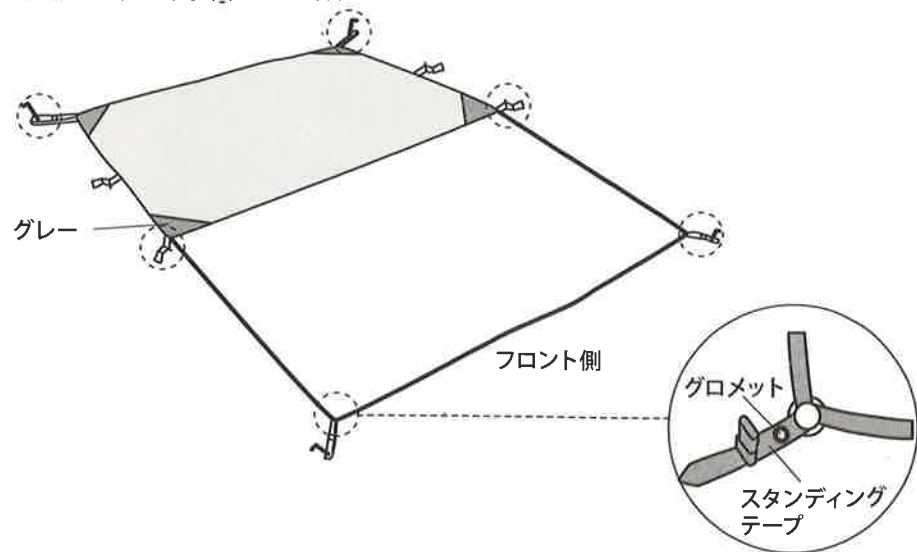


※設営時のポイント
 本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドクリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

設営手順

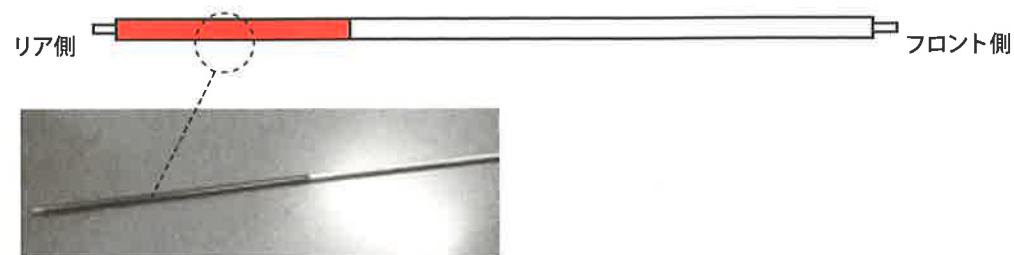
I 本体を広げます

STEP 1 スタンディングテープを広げます。コーナーにグレーの生地がある面がおもてになります。○の6ヶ所をペグダウンして仮止めしておきます。



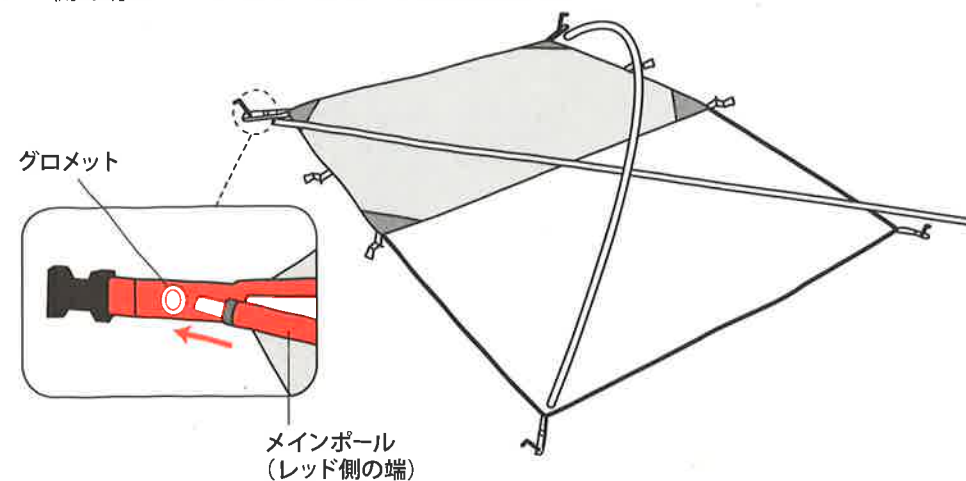
II メインポールをセットする

STEP 2 メインポール（シルバー/レッド）を伸ばします。メインポールは向きがあります。端がレッドの方がリア側になります。



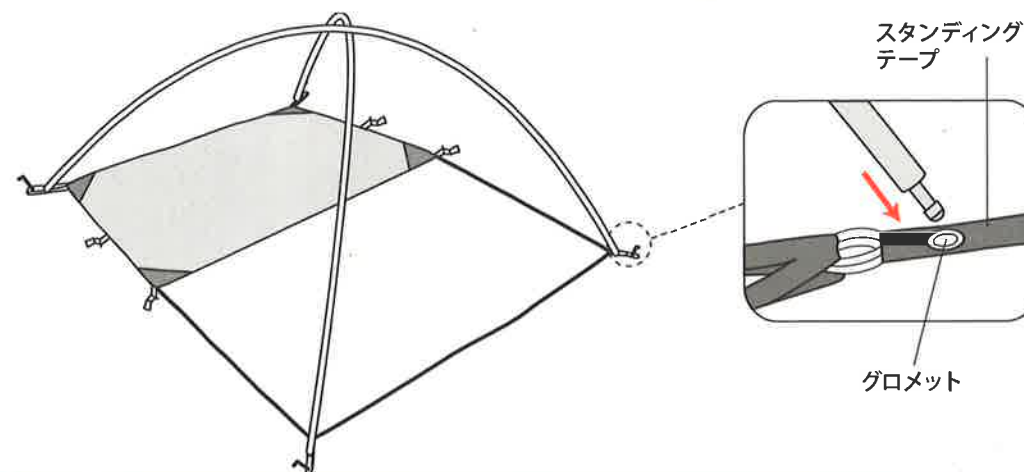
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 メインポールをセットします。メインポールの端（レッド）をインナーテントのリア側の赤いテープのグロメットに差し込みます。



注意 ポールをグロメットに差し込む際、指などはさまないように注意してください。

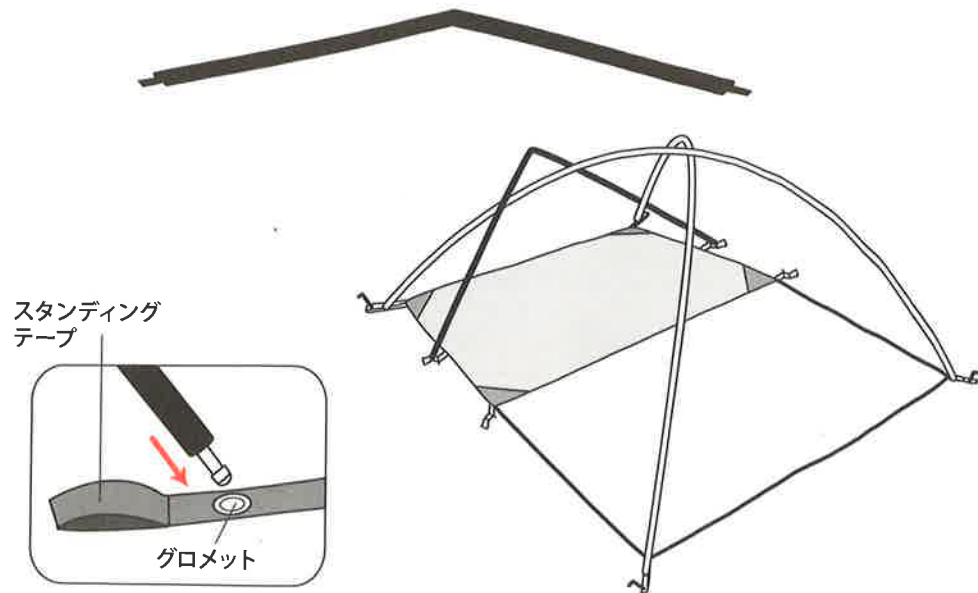
STEP 4 反対側の端（フロント側）をスタンディングテープのコーナーのグロメットに差し込みます。（黒テープ）



注意 ポールをグロメットに差し込む際、指などはさまないように注意してください。

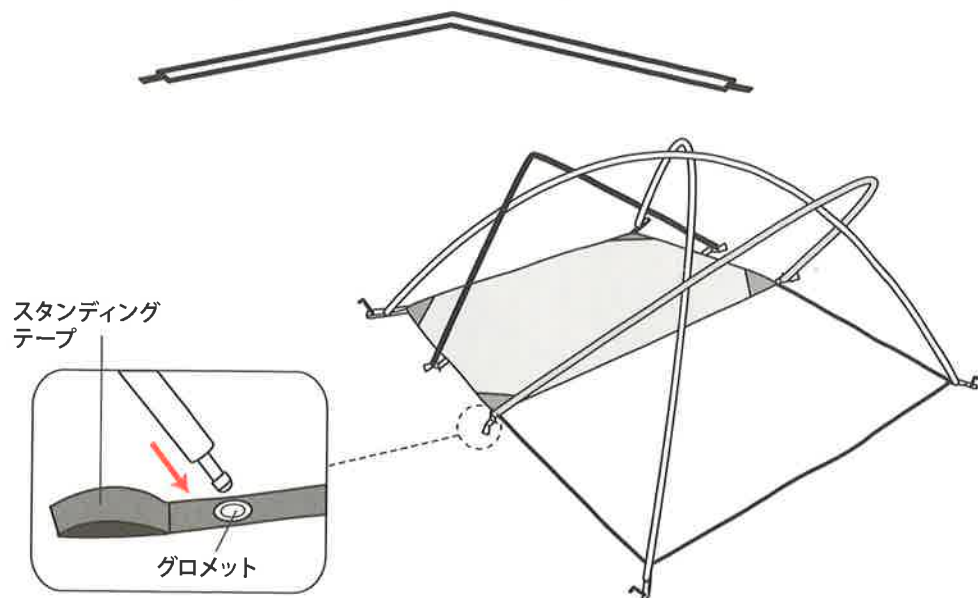
STEP 5

リアポール（ブラック）を伸ばします。
リアポールをスタンディングテープのグランドシート側中央のグロメットに差し込みます。メインポールの上側に重なります。



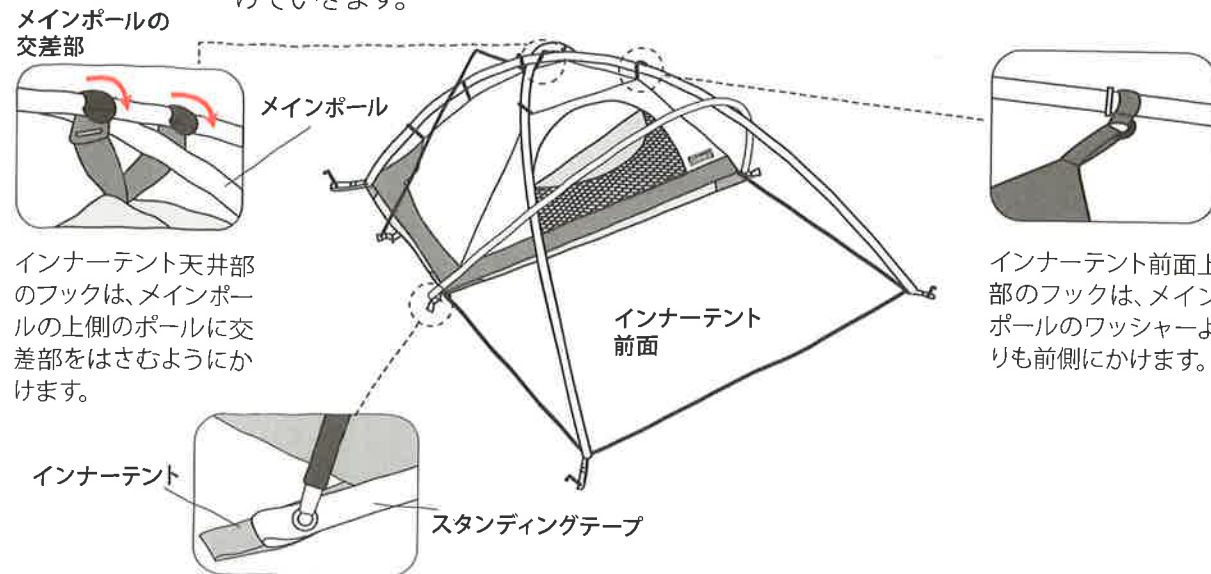
STEP 6

フロントポール（シルバー）を伸ばします。
フロントポールをスタンディングテープのグランドシート前方のグロメットに差し込みます。



STEP 7

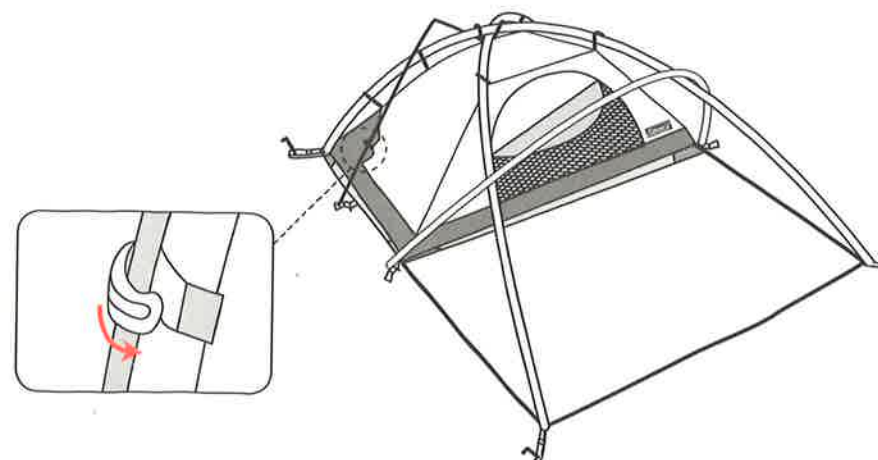
インナーテントをグランドシートの上にのせます。コールマンロゴラベルがついている方が前です。インナーテントの各コーナー4カ所のグロメットをスタンディングテープのポールの下に差し込みます。インナーテントのフックをメインポールにかけていきます。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

STEP 8

インナーテント側面についているフックをリアポールにかけていきます。



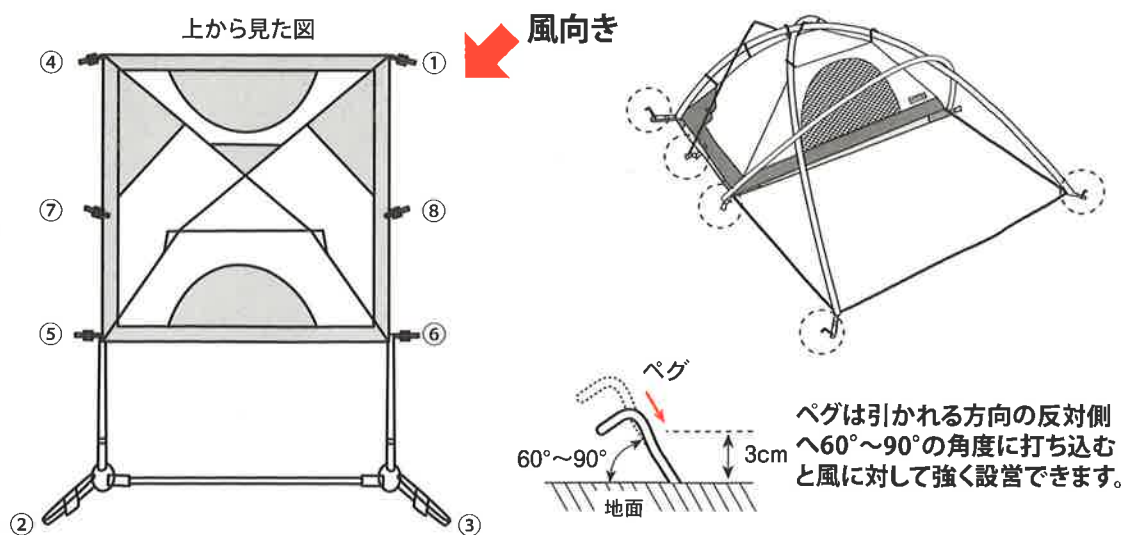
注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

III 設定位置を決め固定する

STEP 9 前後のファスナーをすべて閉めます。仮止めしたペグを抜きます。



STEP 10 設営位置を決め、図のように8ヶ所のループを風上より(①~⑧)順で対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。

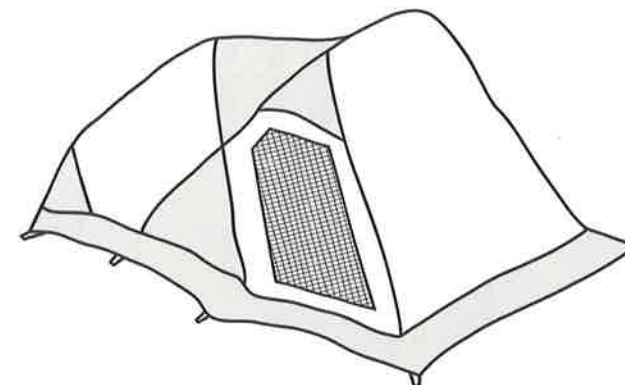


注意

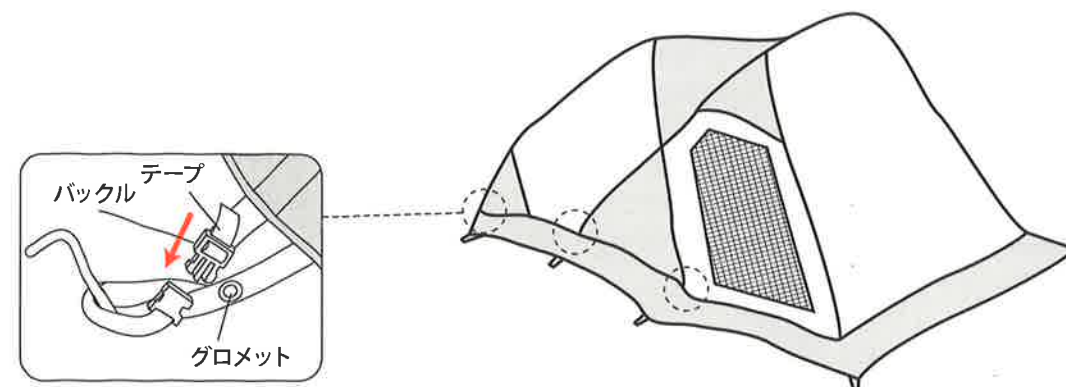
フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

IV フライシートをかぶせる

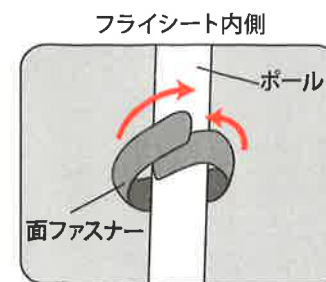
STEP 11 フライシートをかぶせます。



STEP 12 フライシート端と、スタンディングテープコーナーのループをバックルでとめます。

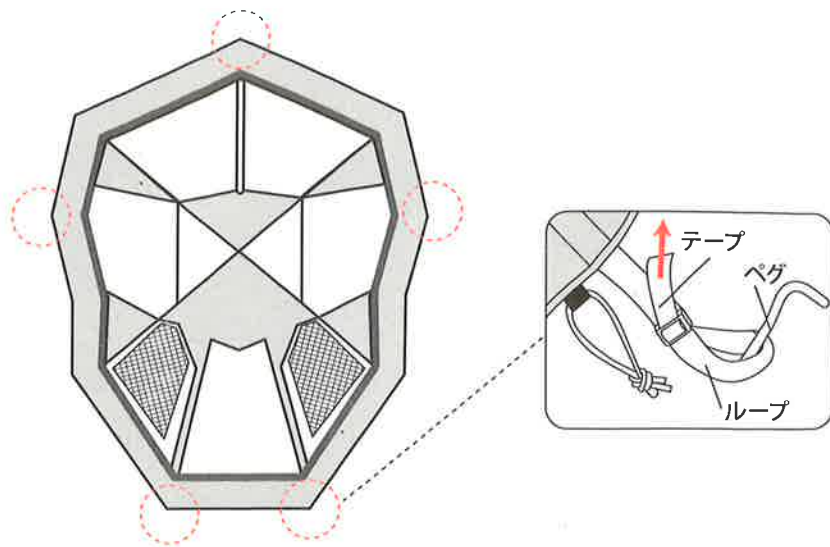


STEP 13 フライシート内側にある面ファスナーをそれぞれポールにとめて固定します。



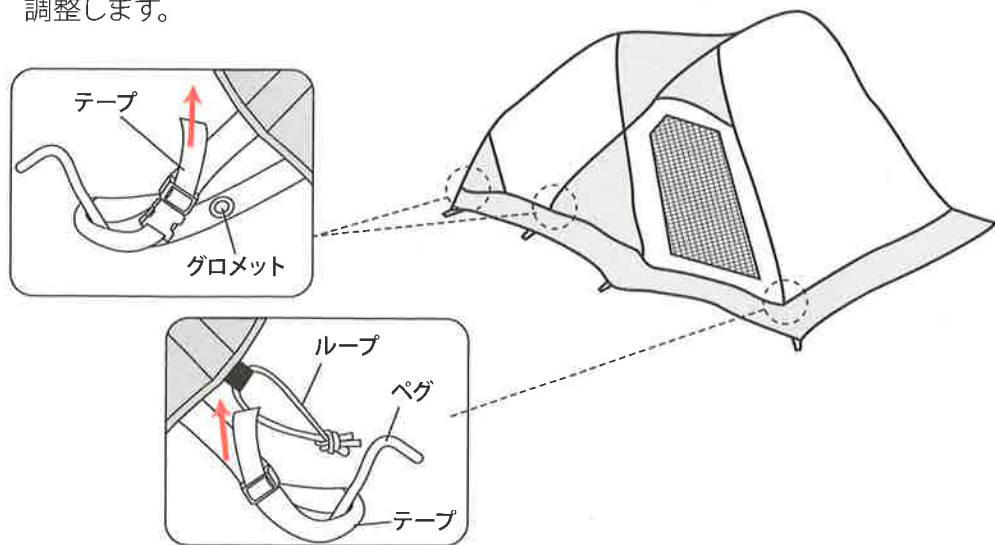
V ペグで固定する

STEP 14 フロント、リア、サイド側のループを張り出し、ペグで固定します。



注意 ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

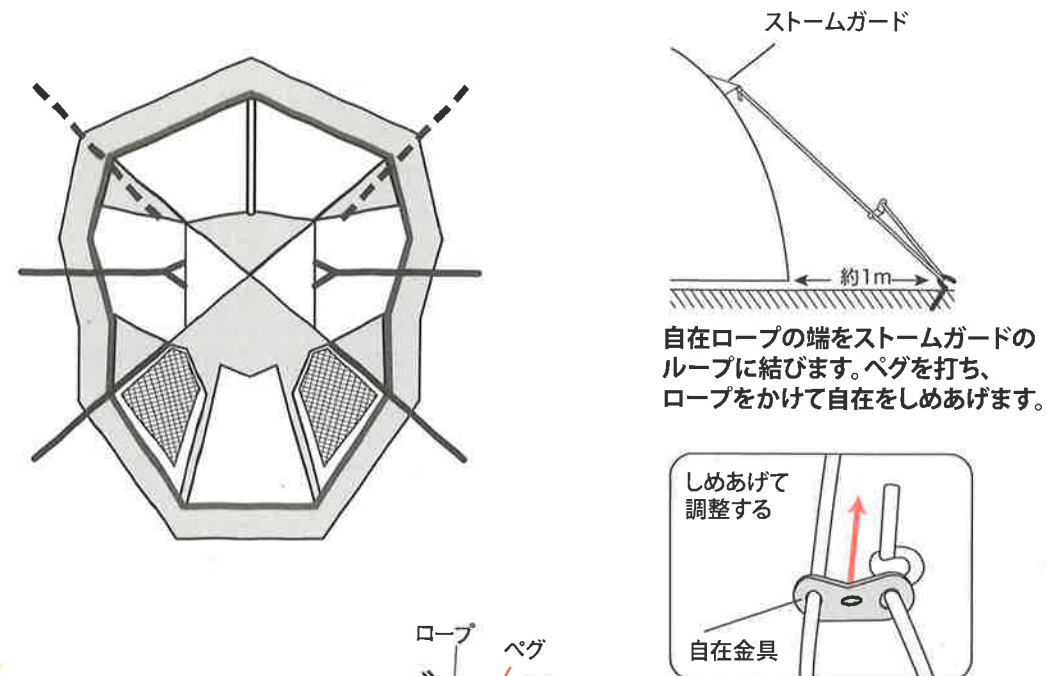
STEP 15 各コーナーのバックルのテープを引き、フライシートのたるみを取って張り具合を調整します。



注意 テープを引きすぎないように注意してください。フライシートが破損するおそれがあります。

VI ロープを張り固定する

STEP 16 ストームガードシステム (ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法) により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



ストームガード
約1m
自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

上図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ちをして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

ロープ ペグ
3cm
60°~90°
地面
ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

注意 ドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

VII キャンピーを活用する

STEP 17 キャンピーとして活用する場合は、付属のキャンピーポールを使用します。



注意

雨天時にキャンピーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープ（別売）を結びペグ止めて雨水を流してください。

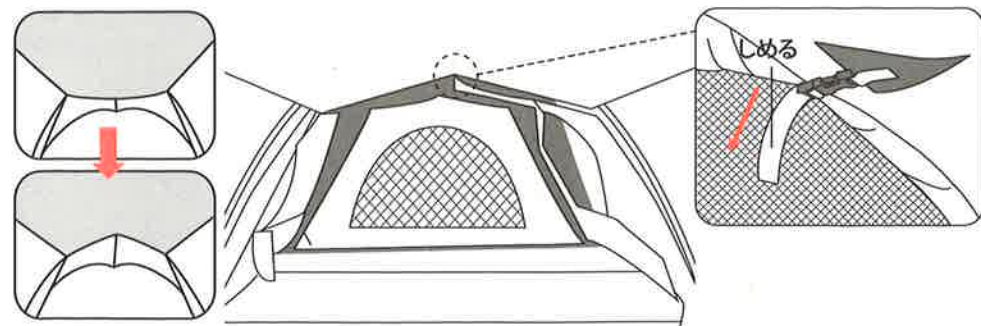


注意

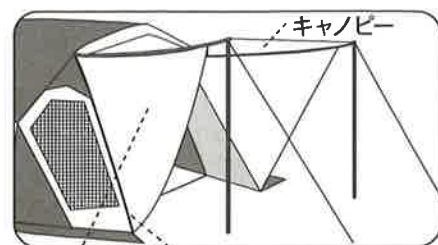
風の強い時は必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

●ハイビューシステム

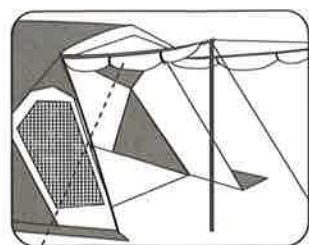
フロントキャンピーの中央部のバックルを閉めることにより、中央部のたるみを取りキャンピーを高く使用できます。



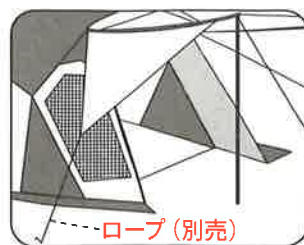
●フロントキャンピーサイドウォール



サイドウォール ファスナー



使用しないときは、トグルとループでとめておきます。



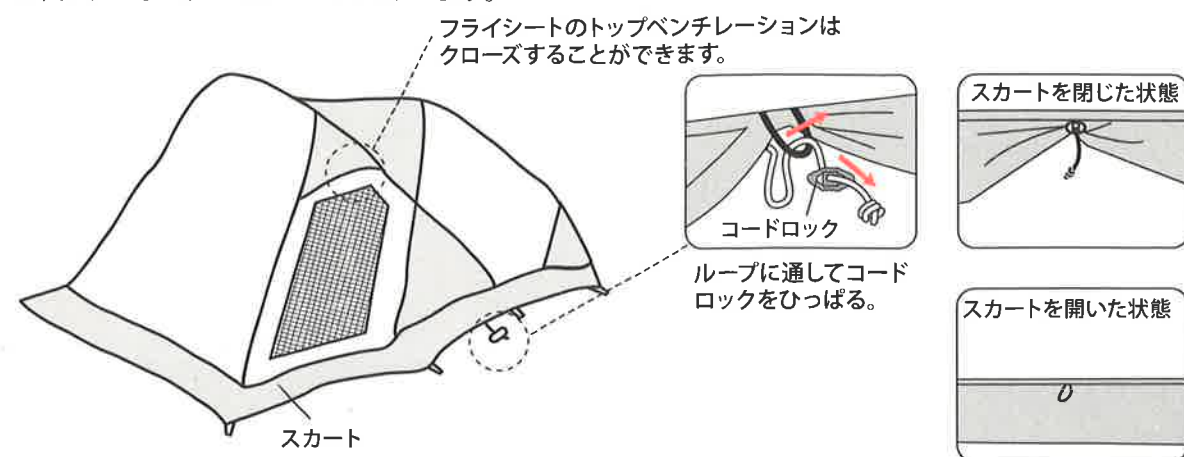
サイドのファスナーを開きロープで引っ張り広げることができます。

VIII スカートを活用する

STEP 18

●スカートの調節について

本製品はフライシートにスカートが装備されています。サークルベンチレーションを活用する際には、以下の手順でスカートを調節します。



注意

このループは、本体を固定する為のものではありません。強い力が加わると、破損する場合があります。

●スカートのペグダウンについて

スカートの端にはループがついています。強風時や、寒冷時ペグで止めることにより、風のふき込みを防ぎ、保温力を高めます。スカート用のペグは付属しておりません。別途お買い求めください。

